

やまもも親子運動会を行いました

やまもも保育所 芳我 岳陽

11月5日（金）、正気フィールドで『やまもも親子運動会』を行いました。総勢18組の親子が、青空の元楽しく元気いっぱいに遊びました。

今年はクラスの平均年齢が3.7才。うーん若い。これではリレーのようにガチな競争をやっても、あまり意味がないかもしれない…。と考えると、今回は親子で運動会風にしめるような構成を考えることにしました。

何かないかと調べていたところ、段ボールを使った競技が目にとまりました。それが「段ボール積み上げ競争」と、段ボールをキャタピラのような形にして、その中に入って四つ這いで進む「ブルドーザー」でした。

よし、これをやろう！ となって、毎日病院のゴミステーションに通いつめ、段ボールを集めてはせっせと道具をこさえました。そして、出来上がったキャタピラを正気フィールドで試運転。子どもたちは「面白い！」と大盛り上がり。皆そのうち色々な進み方を試し始め、縦にして立って進む子、中で前転しながら進んでいる子もいました。子どもの発想って柔軟ですよ（でも、壊れるんで丁重にやめていただきました）。

運動会当日。よく晴れて日差しは暑いくらい。このところの寒暖差で体調を崩した子達も、元気に復活し、運動会を心待ちにしていたようでした。

最初に、いつも部屋で行っている体操で体をほぐした後、塩ビ管の両端を親子で持って、ポールをぐるりと回ってゴールに向かう競争【台風どっかーん】で汗を流しました。その後は、いよいよ段ボールを使った競技【はいたつやさん】です。

赤白青緑4チームの総当たり戦で、ルールは簡単。段ボールを組み立ててゴールに運ぶだけ。ただし、持って行っていい段ボールは一度につき一人一枚。組み立ての際にはガムテープを必ず使用すること。各グループで戦略を練り、いかに効率よく段ボールを組み立てて運ぶかを考えてもらいます。

作戦タイムが始まると、それぞれのチームで話し合いが始まりました。とはいえ皆さん、普段は顔を合わせることもあまりないので、最初は戸惑い気味でしたが、人間不思議なもので、いかに急造チームといえども、この気まずい沈黙を破ってくれる人が出てくるものです。かくしていよいよレース開始です。

レースが始まると、スピードを迫るために、箱の底だけガムテープで塞ぐという手抜…いや、効率化を図って持って行くチーム、組み立てと配達を役割分担していたチームがありました。前者はいち早く届けるのがモットーの佐○急便、後者は確実に堅実な物流を支えとするヤマ○運輸といったところでしょうか（もちろん勝手なイメージです）。

勝負はどの組も僅差でしたが、次の「スカイツリーをつみあげろ！」でこの箱を使うんですよ…。





「スカイツリーをつみあげろ！」は、組み立てた箱を指定の場所に積み上げていく競争。基本的にどの箱も使ってよいのですが、やはり自陣の近くに落ちている箱を優先的に使うものですよね。なにはともあれ、最後に一番高いタワーを作ったチームが勝ちです。

スタートすると、各チーム、箱をどんどん積み上げていきます。しかし！ 佐〇は大苦戦！ ガムテープをちゃんと貼っていなかったばかりに、肝心なところで崩れるのです。それはまるで某国の急造デパートのような壊れっぴりです。かたやヤ〇トは安定する大きい箱を先に置き、高くなってきたら子どもを肩車して箱を積み上げさせるという、冷静で見事なチームプレイ！ やはり日頃からの丁寧な仕事が生むのだなと、人生の教訓にさせていただきました。この遊びは子どもたちも気に入って、休憩時間も夢中で積み上げて遊んでいました。



次は、段ボールキャタピラを使った「ブルドーザー」。前が見えないキャタピラに乗って、正気フィールドの端から端へ行くのはキツイだろうと思い、中間地点で大人を交代するルールにしたのですが、「一人で行きます」「行かせてください」という志願者が続出。レースは子どもの年齢が上がるごとに激しさが増していきました（…親の）。子どもをおぶって四つ這いで猛進する親子（親）、四つ這いどころか雑巾がけのように手を滑らせて爆走する親子（親）。めちゃ速い。すごい本気。後ろから見るとさながらナ〇シカのオ〇ムの行軍のようで中々の迫力でした。

今回は勝ち負けのつかない運動会遊びでしたが、子ども達は大好きなお父さんお母さんとたくさん触れ合えて大満足の様子でした。

後日、2歳児のK君はブルドーザーが気に入ったようで、部屋用のキャタピラでコロコロと走って遊んでいました。

